

都道府県名: 神奈川県 氏名: 長瀬 和雄

地域

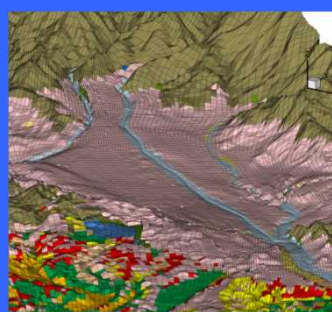
長瀬氏が活躍されている秦野市は、神奈川県の西部に位置し、昭和30年に秦野町、南秦野町、東秦野村及び北秦野村の二町二村が合併して誕生した市です。北方には「神奈川の屋根」と言われる丹沢山地をひかえ、南方には断層により隆起した渋沢丘陵が東西に走る、県下で唯一の典型的な盆地です。市内を流れる水無川、葛葉川及び金目川により盆地の中に扇状地が形成され、その地下は、箱根火山等から飛来した火山灰と丹沢山地からの砂礫との互層構造を成しています。このような地下構造から、「天然の水がめ」として良質な地下水が豊富で、明治23年給水開始の水道事業の水源に使用され、昭和60年には名水百選に「秦野盆地湧水群」として認定されています。

略歴

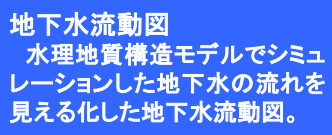
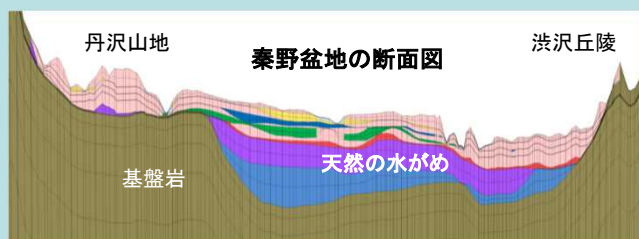
昭和45年 4月～平成 9年 3月	神奈川県温泉地学研究所 職員
平成 9年 4月～平成11年 3月	神奈川県温泉地学研究所 所長
平成 元年10月～平成 9年12月	秦野市地下水汚染対策審議会 委員
平成17年 3月～平成29年 3月	秦野市地下水保全審議会 会長

功績内容

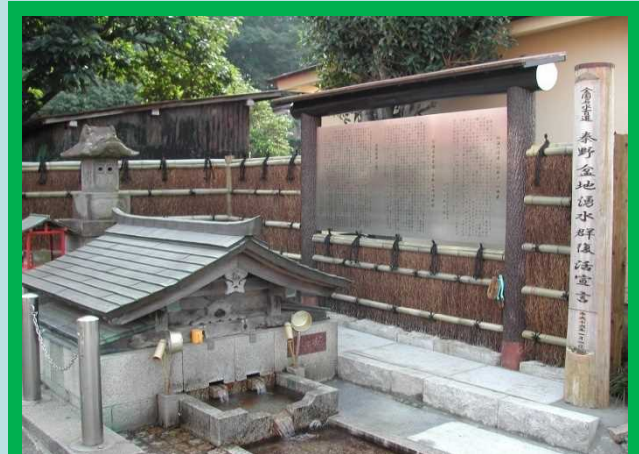
- ・神奈川県温泉地学研究所職員として、秦野盆地の地下水調査を実施し、地下水資源の保全のための水田かん養、深井戸による地下水注入、水源林整備等について助言するとともに、秦野盆地の地域水循環を解明し、「秦野盆地の地下水は市民共有にして有限な財産である」と提言された。
- ・秦野市地下水汚染対策審議会(H25～秦野市地下水保全審議会)では、地下水汚染機構の解明、汚染の未然防止、原因者による浄化義務を盛り込んだ全国初となる条例の制定に携わり、名水百選「秦野盆地湧水群」の水質復活に専門家として貢献された。
- ・秦野市地下水保全審議会会長として、健全な水循環を創造する水資源管理の仕組みづくりと市民共有の財産にふさわしい地下水資源の利活用に尽力され、「名水の里秦野」の地下水保全について長年にわたり貢献されてきました。



水理地質構造モデル
三次元モデルを構成する各格子に水理地質等のデータ数値を組み込み、水循環シミュレーションを行う水理地質構造モデル。



地下水流動図
水理地質構造モデルでシミュレーションした地下水の流れを見える化した地下水流動図。



名水百選「秦野盆地湧水群」
有機溶剤による地下水汚染から水質改善し、名水が復活した「弘法の清水」。



水田かん養事業
冬期水田や休耕田に水を張ることで人工的に地下水のかん養を促進する。